

表面処理技術から未来を創造する

第58期・2018年3月期

決算説明資料

株式会社 JCU


東証1部 4975

2018年5月9日(水)開示

2018年5月17日(木)更新

※トピックスをアップデート





- 2018年3月期決算概況
2019年3月期業績予想

- 決算・業績予想トピックス

- 参考資料（会社概要）

当社決算の概況

〈会計期間〉

JCU(単体) → 4月-翌3月

海外子会社 → 1月- 12月

《電子部品分野向け》

海外において、ハイエンドスマートフォン向けのプリント配線板製造を行う顧客で新工法の量産があったことに加え、中国系スマートフォン向けでは高機能化等を背景に需要が堅調に推移したことから、薬品販売は高水準で推移。国内の薬品販売においても、回復基調で推移。売上高は前年同期を上回った。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は緩やかな回復基調で推移。

海外は、中国において小型車減税縮小後も、日系自動車の生産および販売が好調であったことから、薬品販売は堅調に推移。売上高は前年同期を上回った。

2018年3月期 業績概況

【連結】

(単位:百万円)

決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期		
	実績	実績	修正予想 (2017/11/2)	実績	対前期増減率
売上高	19,818	20,760	22,500	23,120	11.4 %
営業利益	4,906	5,500	6,650	6,948	26.3 %
経常利益	4,926	5,502	6,650	6,972	26.7 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,410	4,124	4,900	4,906	18.9 %
1株当たり 当期純利益	120円88銭	147円55銭	176円09銭	176円31銭	—

(注) 2017年4月1日付および2018年4月1日付で、いずれも普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

貸借対照表 要約

※ 一部の勘定科目について省略しております。

(百万円)	2017年3月期	2018年3月期
流動資産	19,007	24,793
現金及び預金	9,913	13,528
受取手形及び売掛金	6,264	7,437
たな卸資産	1,663	2,019
固定資産	7,087	7,472
有形固定資産	4,237	4,191
投資その他の資産	2,781	3,230
資産合計	26,095	32,266
流動負債	5,553	7,076
支払手形及び買掛金(電子記録債務含む)	2,833	3,315
短期借入金(一年内長期含む)	471	608
固定負債	2,084	2,194
長期借入金	645	647
負債合計	7,638	9,270
純資産合計	18,457	22,996
負債・純資産合計	26,095	32,266

2019年3月期業績予想

(単位:百万円)

決算期	2018年3月期	2019年3月期 (予想)	前期に 対する増減率
売上高	23,120	26,000	12.5 %
営業利益	6,948	7,300	5.1 %
経常利益	6,972	7,300	4.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,906	5,200	6.0 %
1株当たり 当期純利益	176円31銭	186円84銭	—

(注) 2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

配当予想

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
1株当たり配当金	中間	15円	17.5円	 22.5円 (5円増配)
	期末	17.5円	25円 (内:記念配当 2.5円)	22.5円
	年間	32.5円	42.5円 (内:記念配当 2.5円)	 45円 (2.5円増配)

(注) 2017年4月1日付および2018年4月1日付で、いずれも普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。



- 2018年3月期決算概況
2019年3月期業績予想

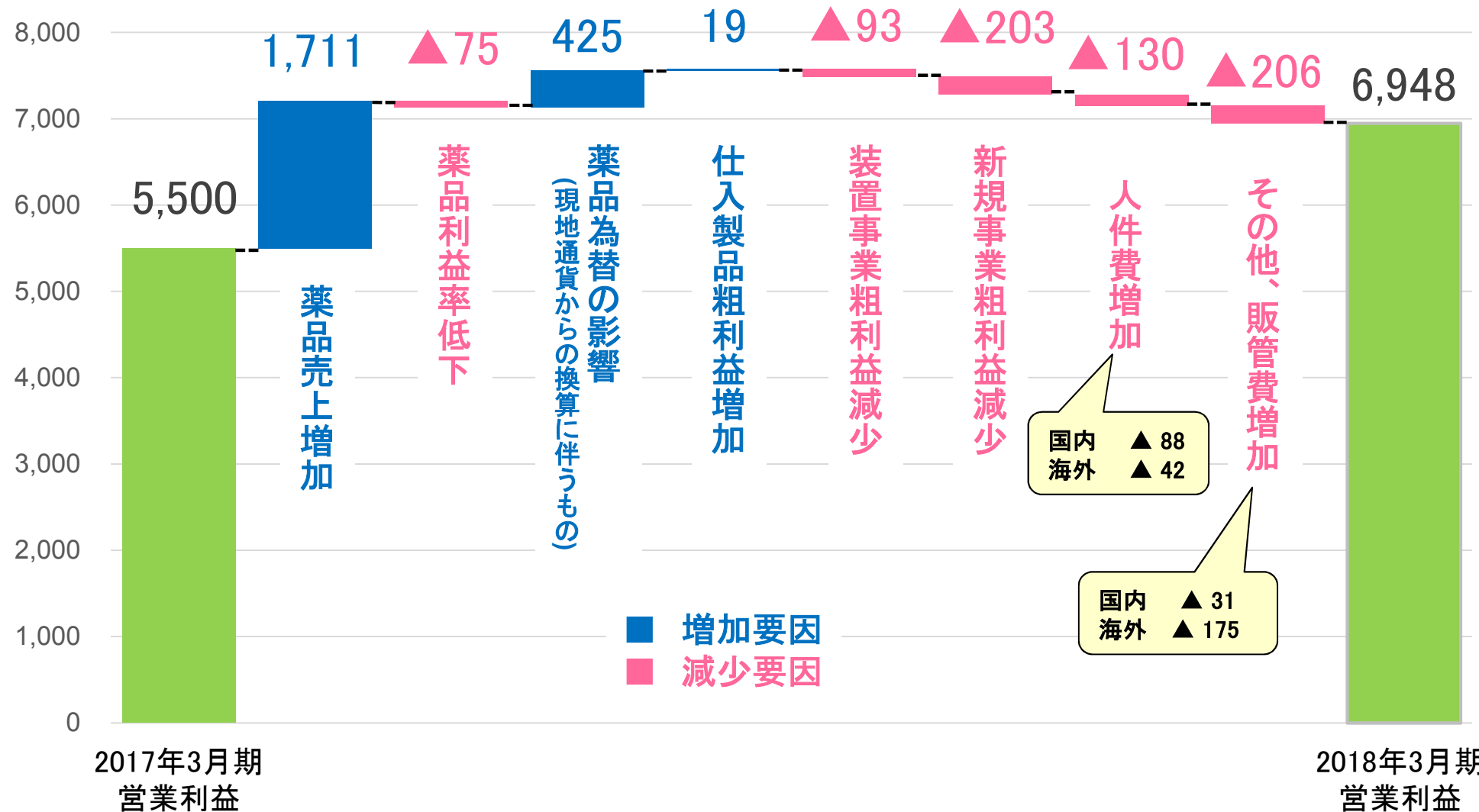
- **決算・業績予想トピックス**

- 参考資料（会社概要）

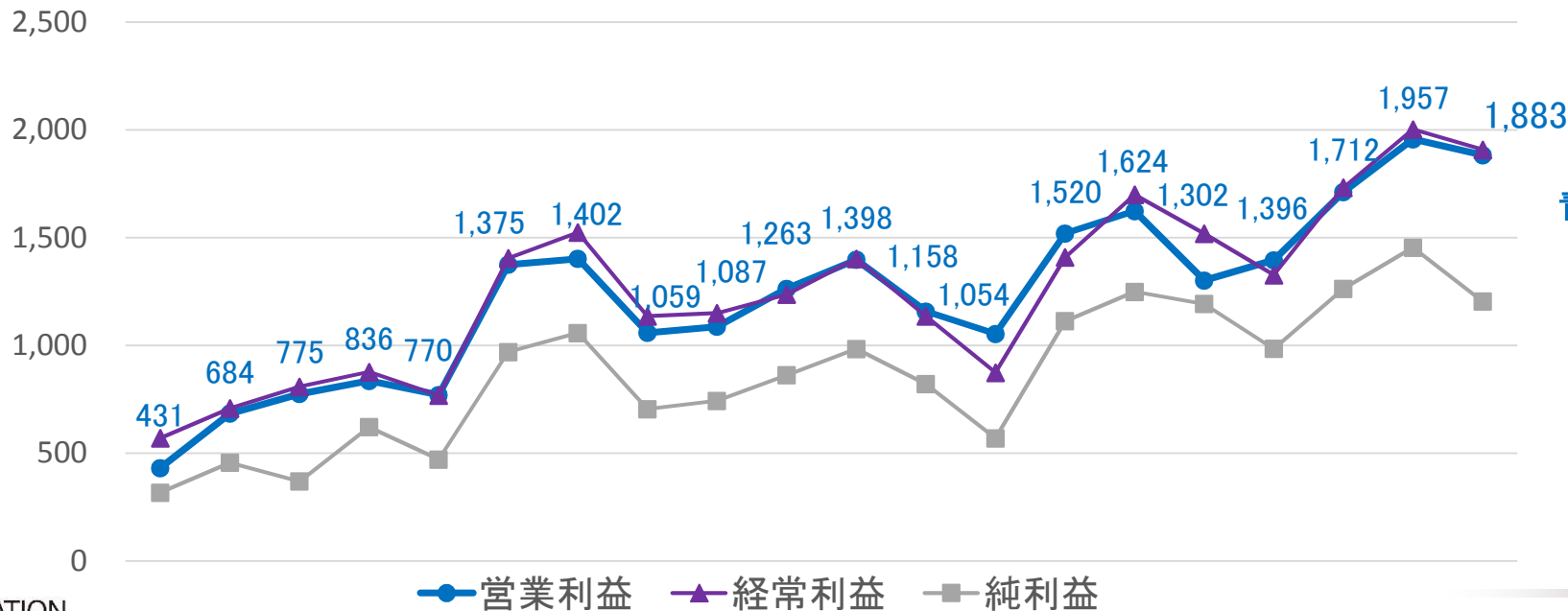
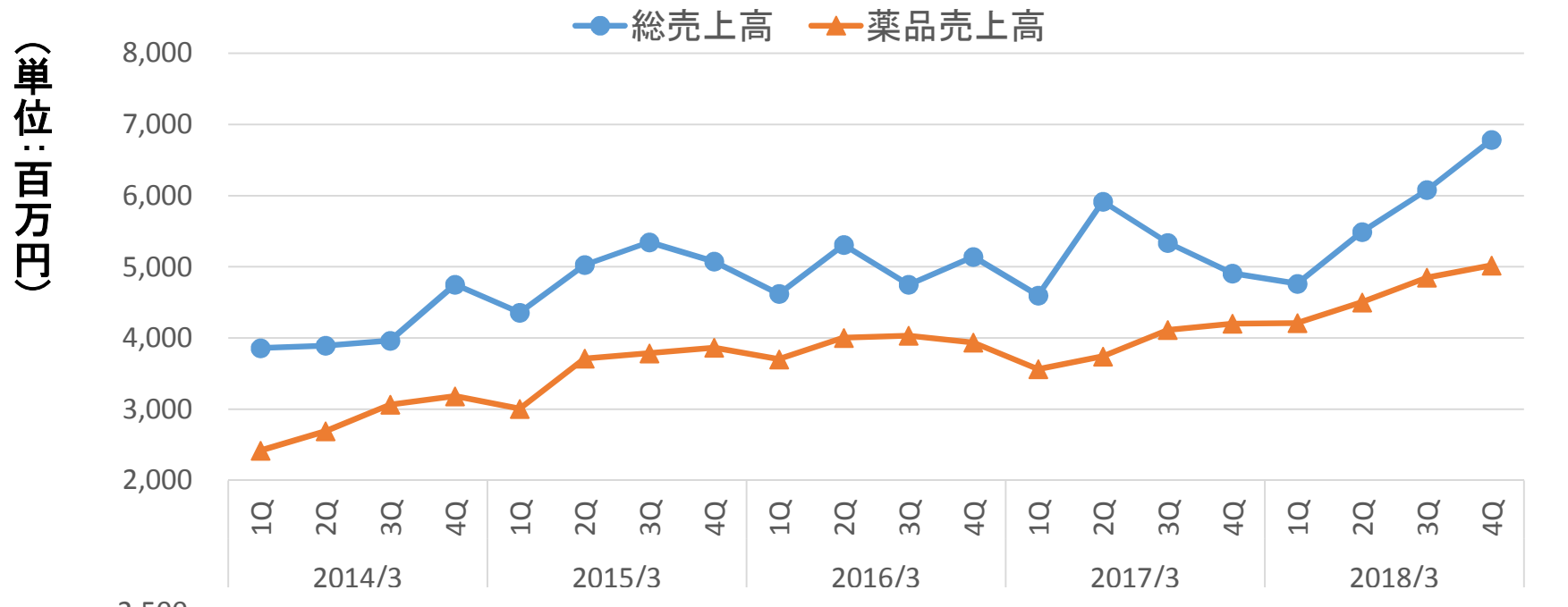
2018年3月期 連結営業利益 増減内容

(単位:百万円)

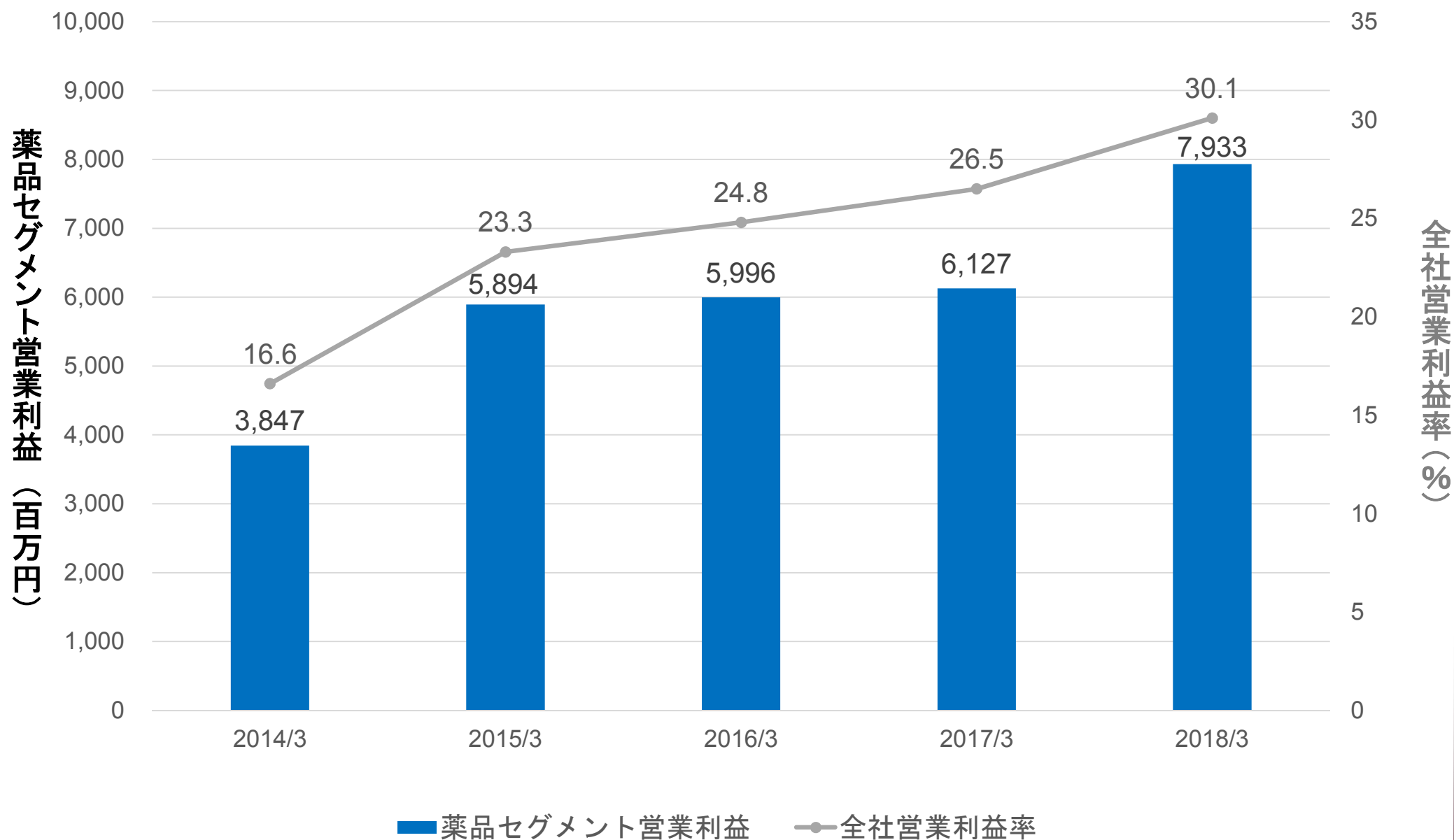
(前期比)
+ 1,448



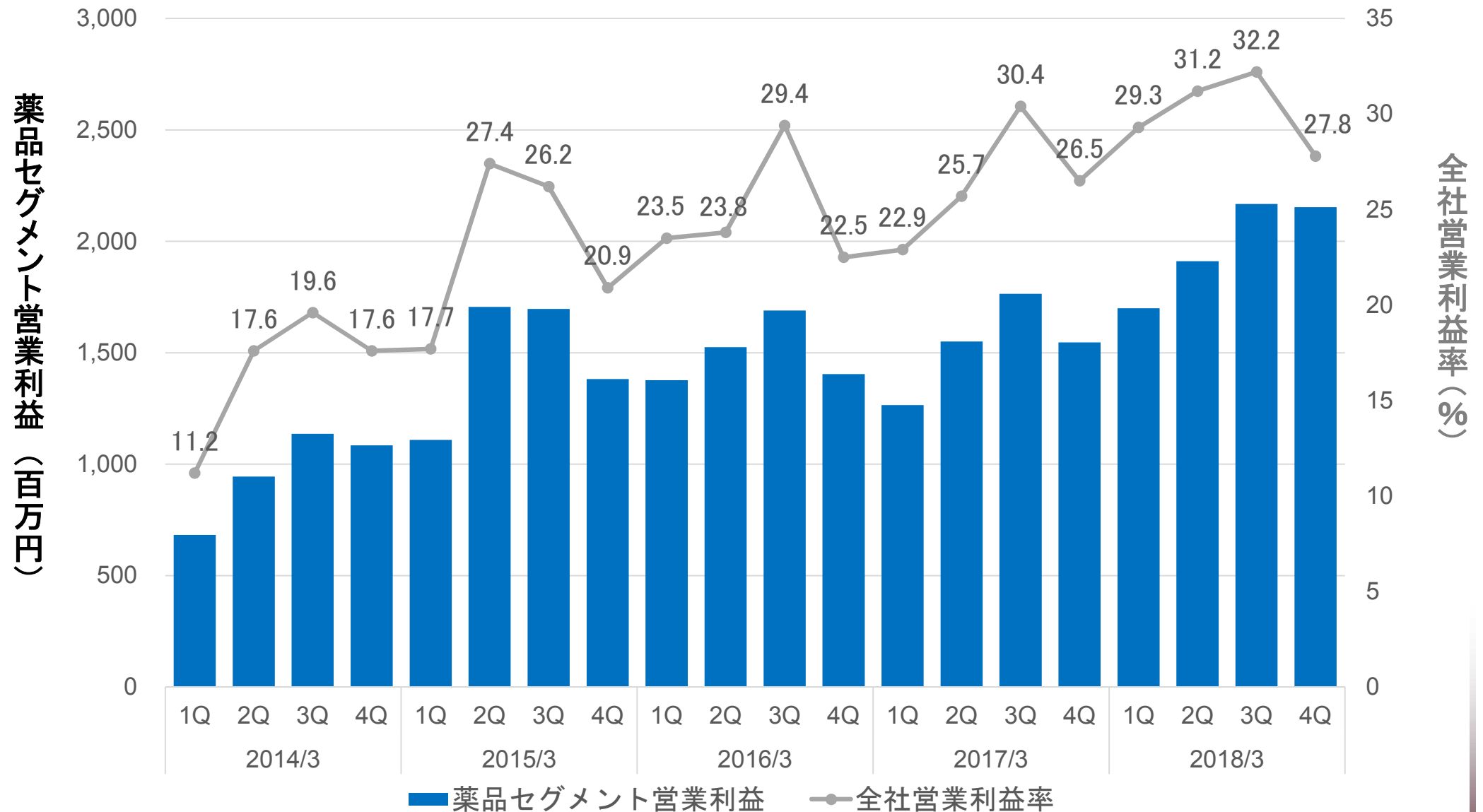
四半期別 連結業績の推移



年度別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移

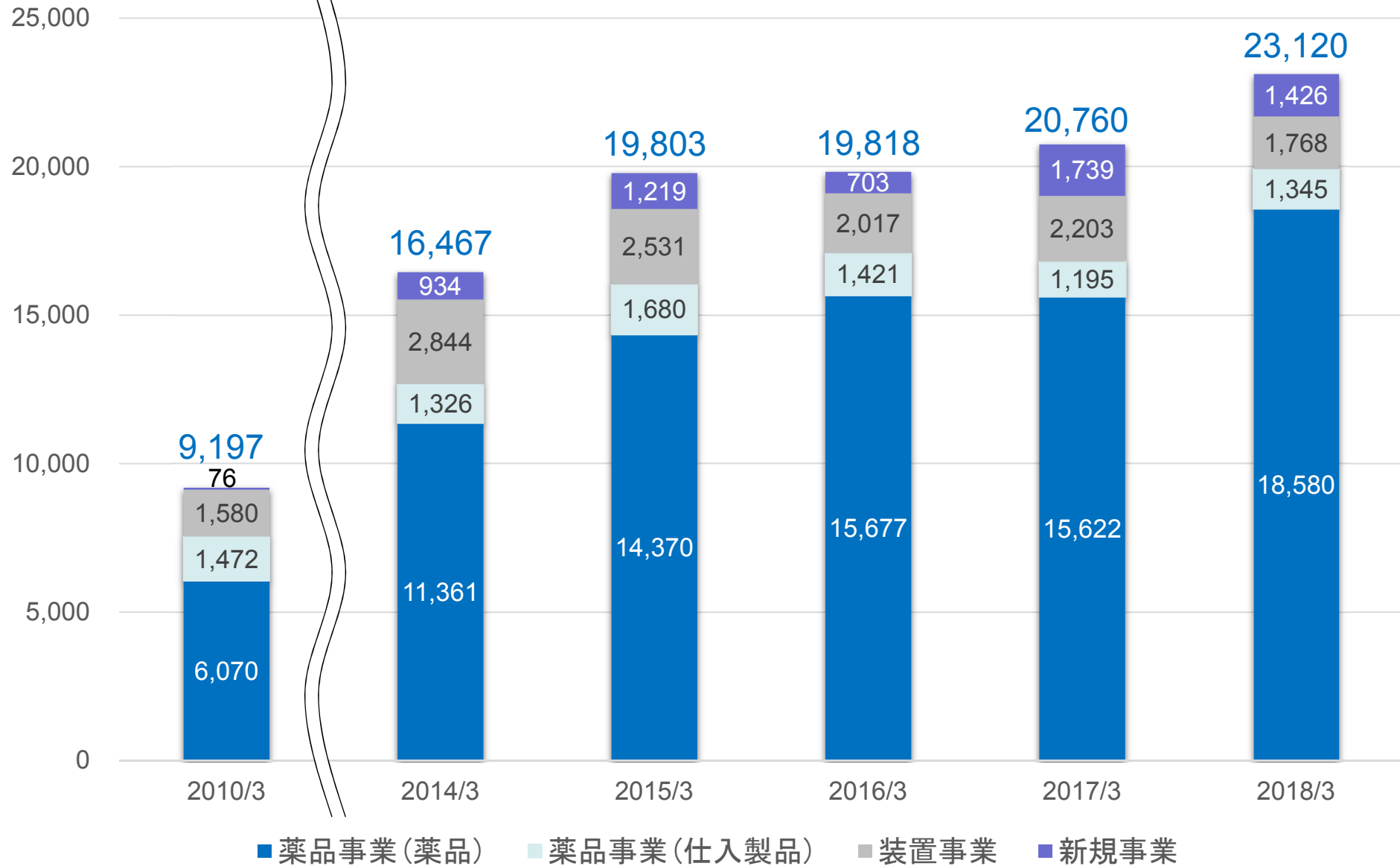


四半期別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移



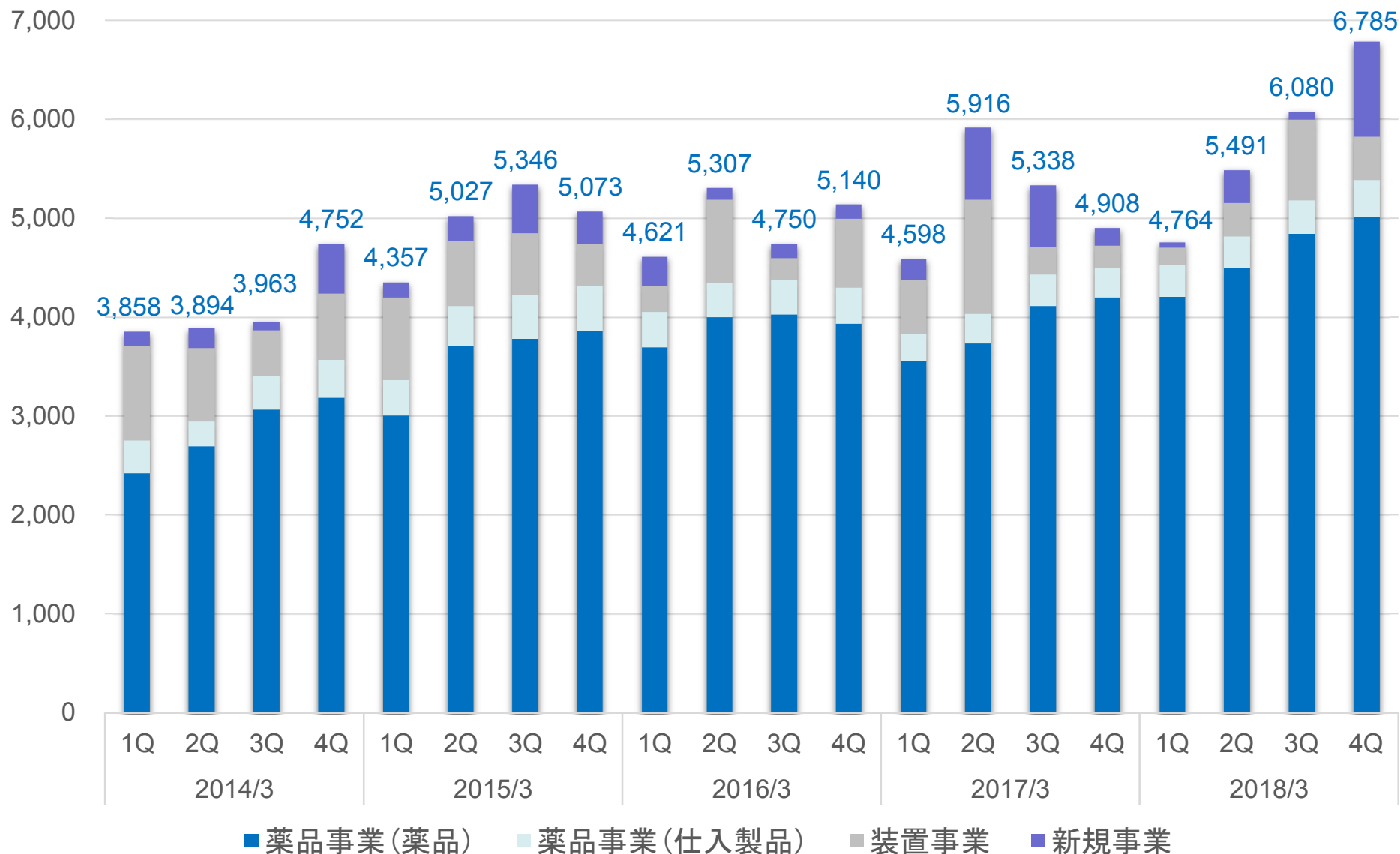
年度別 連結売上高の推移

(単位:百万円)



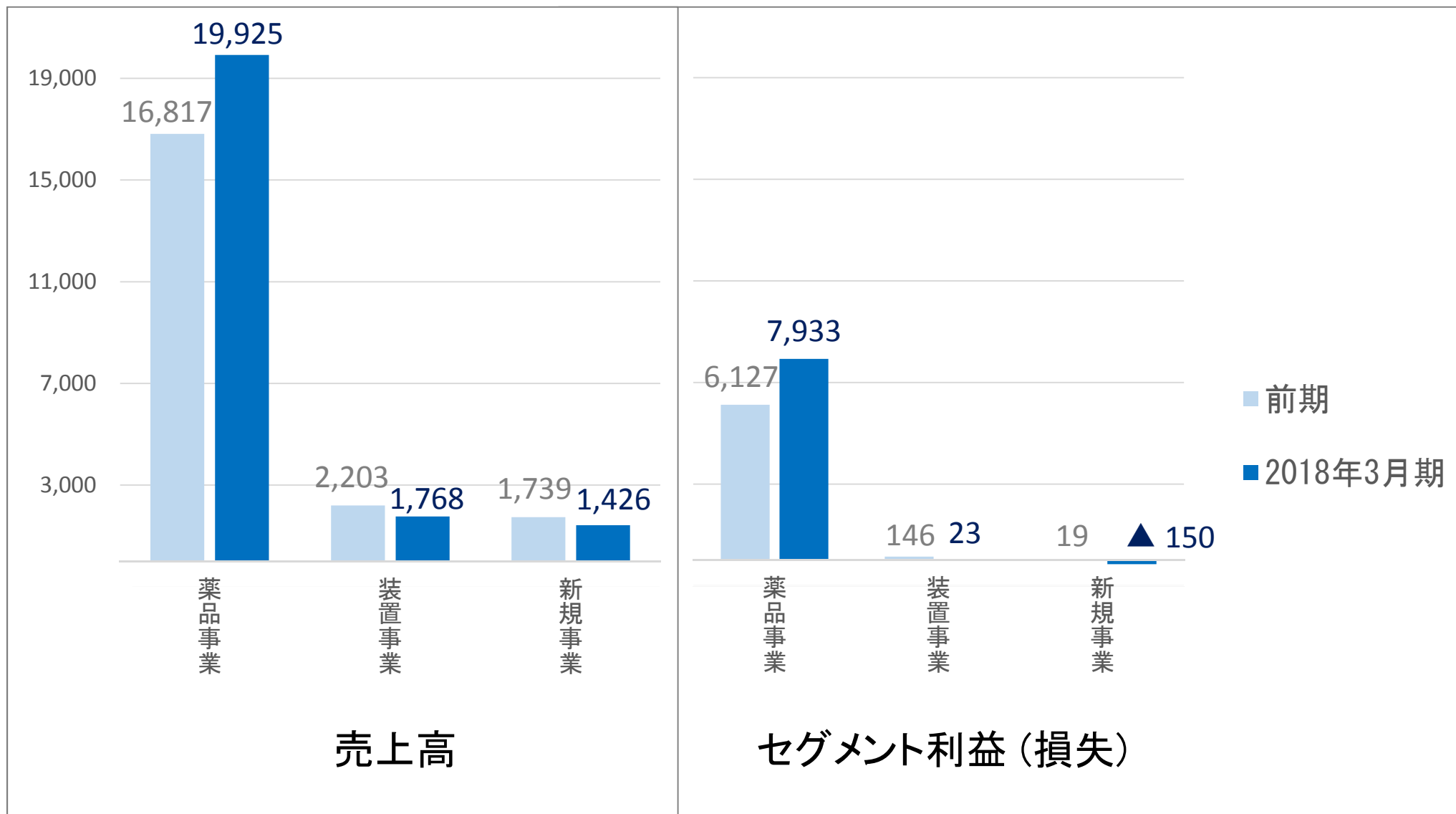
四半期別 連結売上高の推移

(単位:百万円)



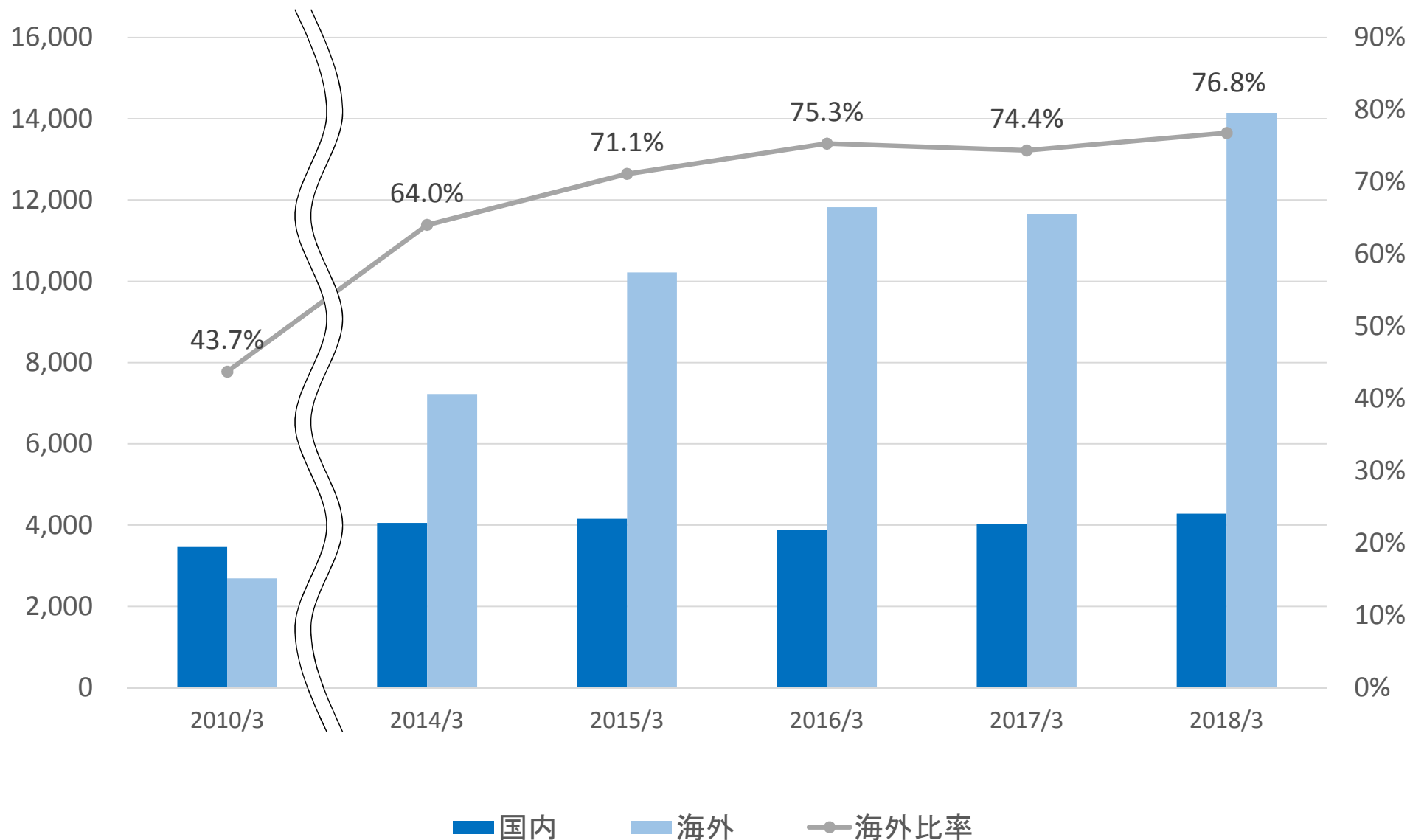
2018年3月期 連結セグメント業績

(単位:百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

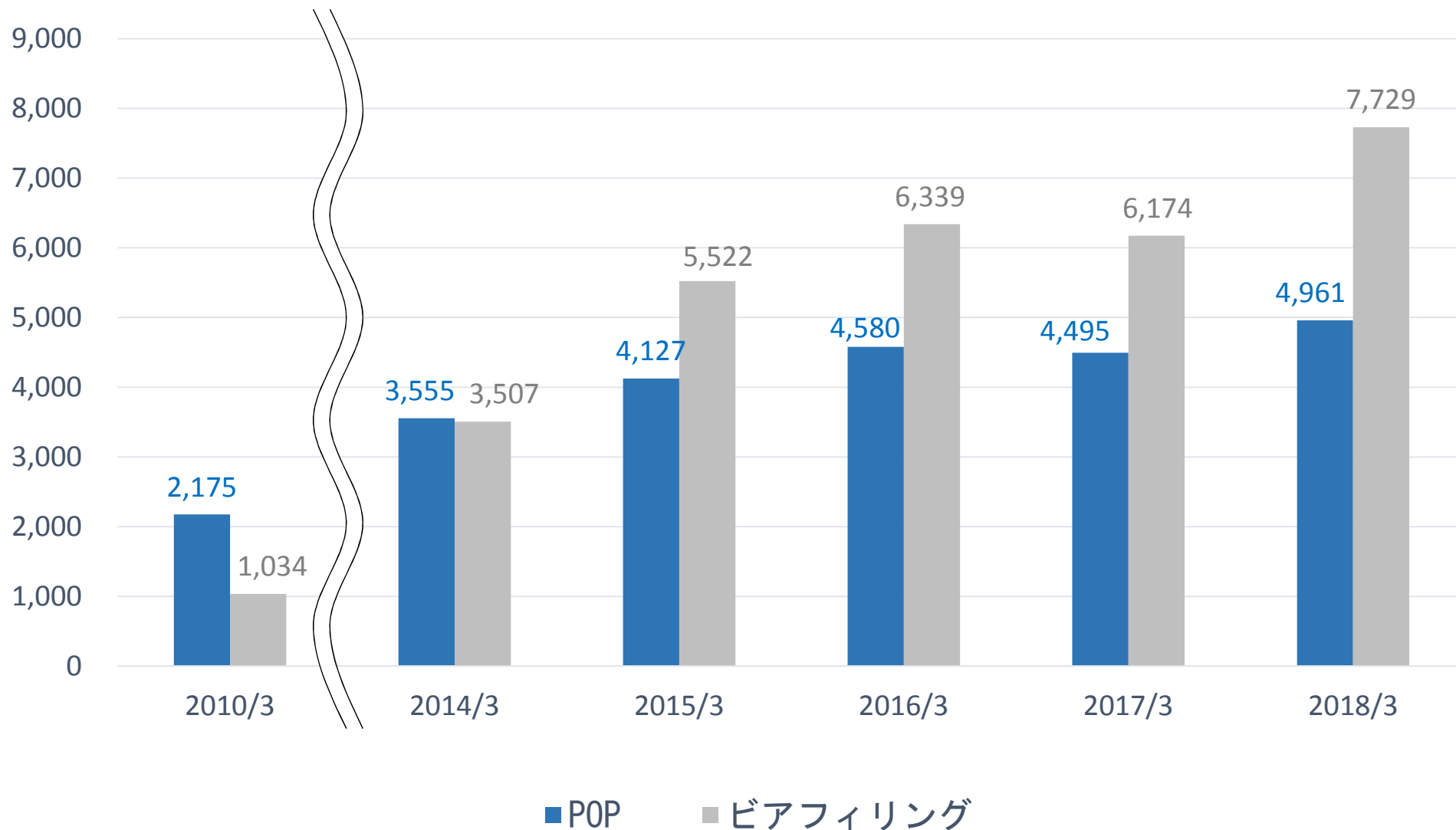
(単位:百万円)



年度別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位:百万円)

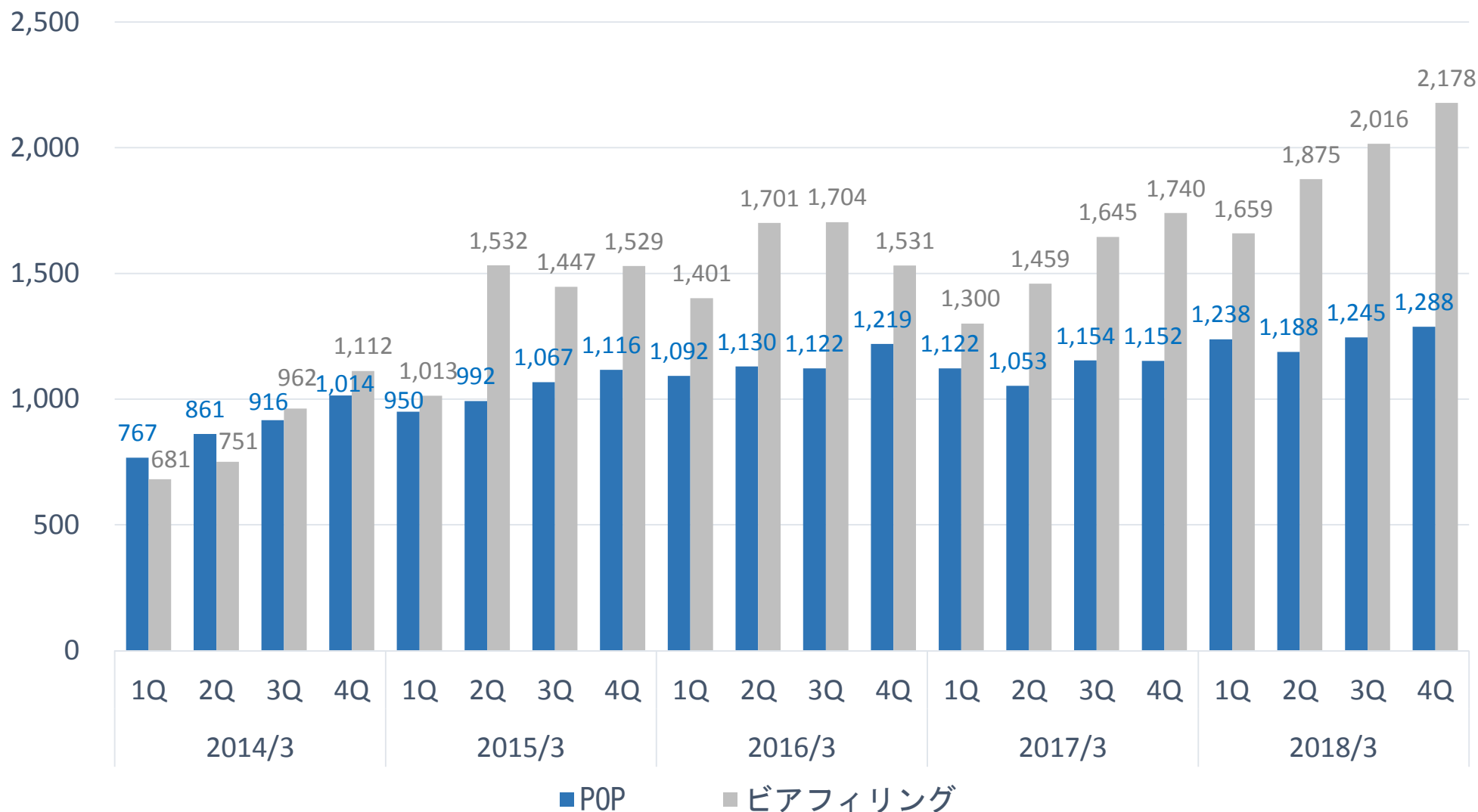
POP (Plating on Plastics) ……プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング……プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

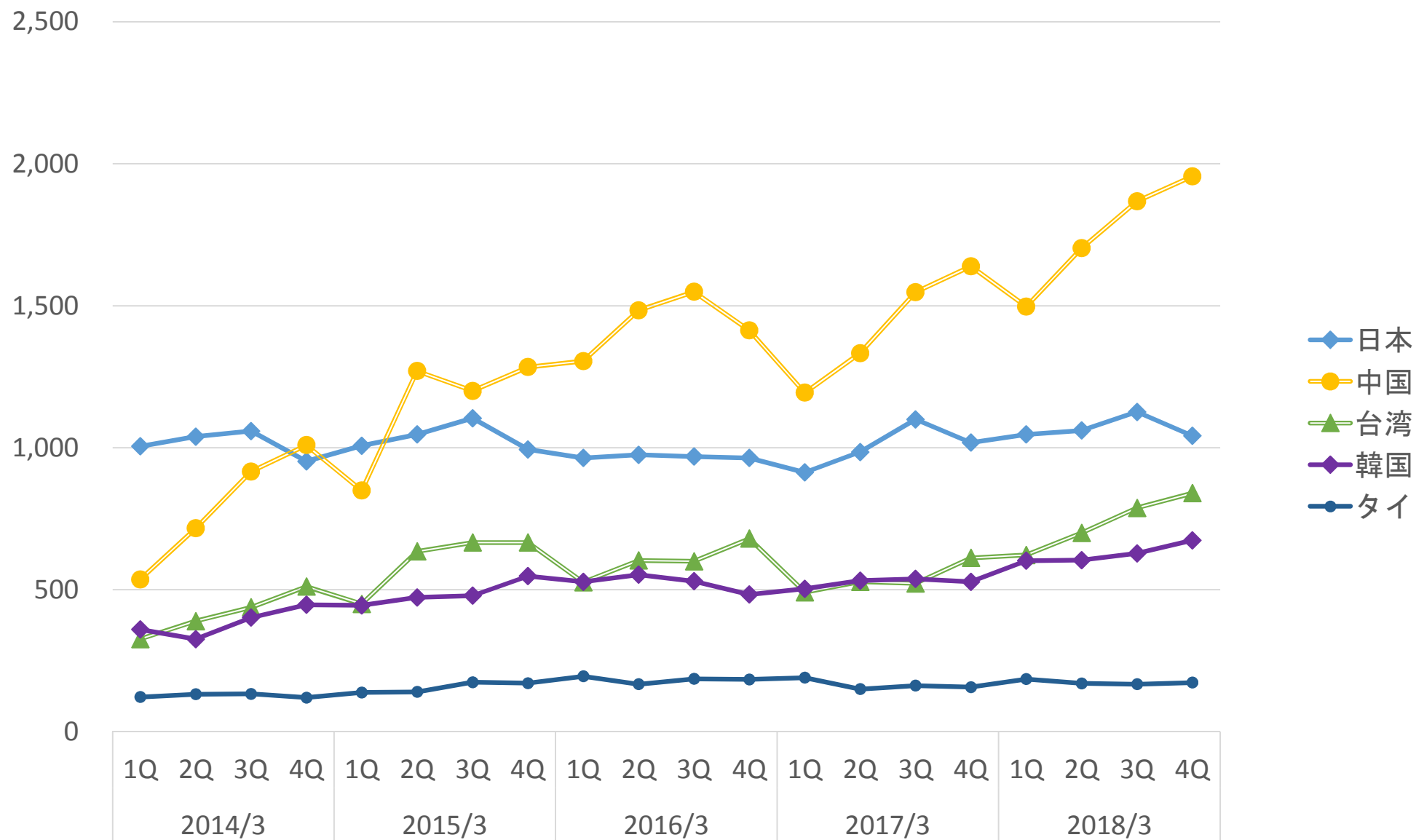
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) ……プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング……プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

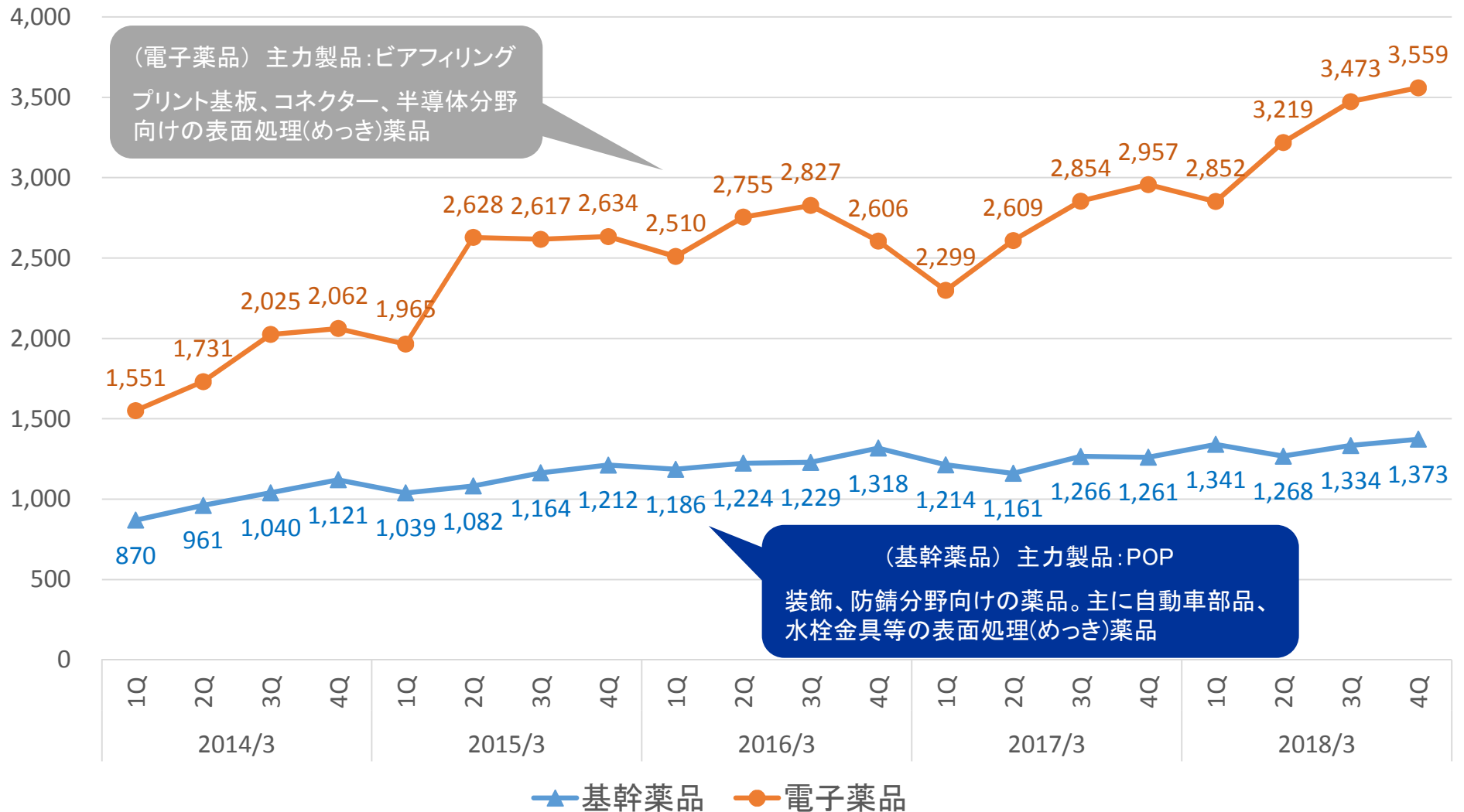
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

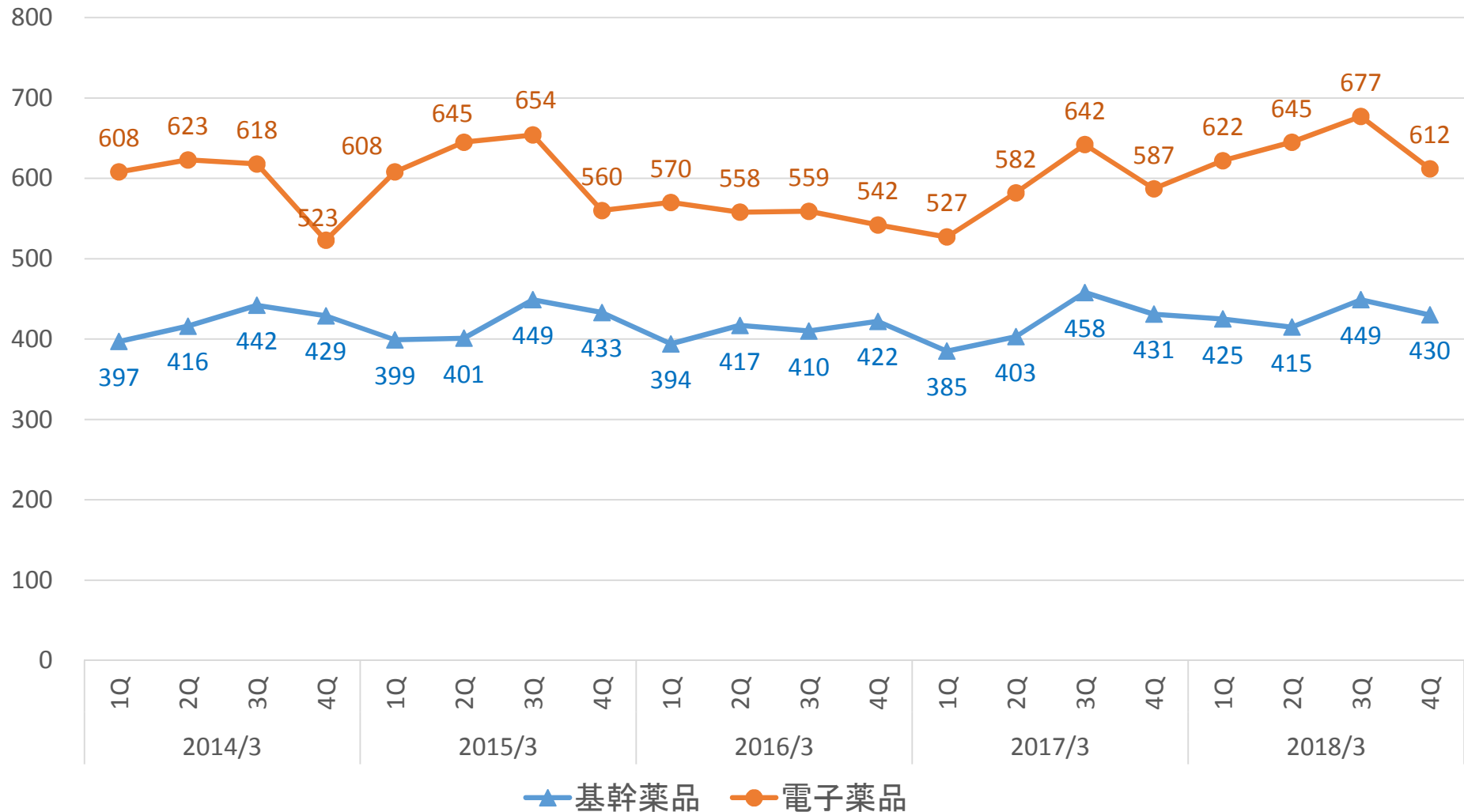
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

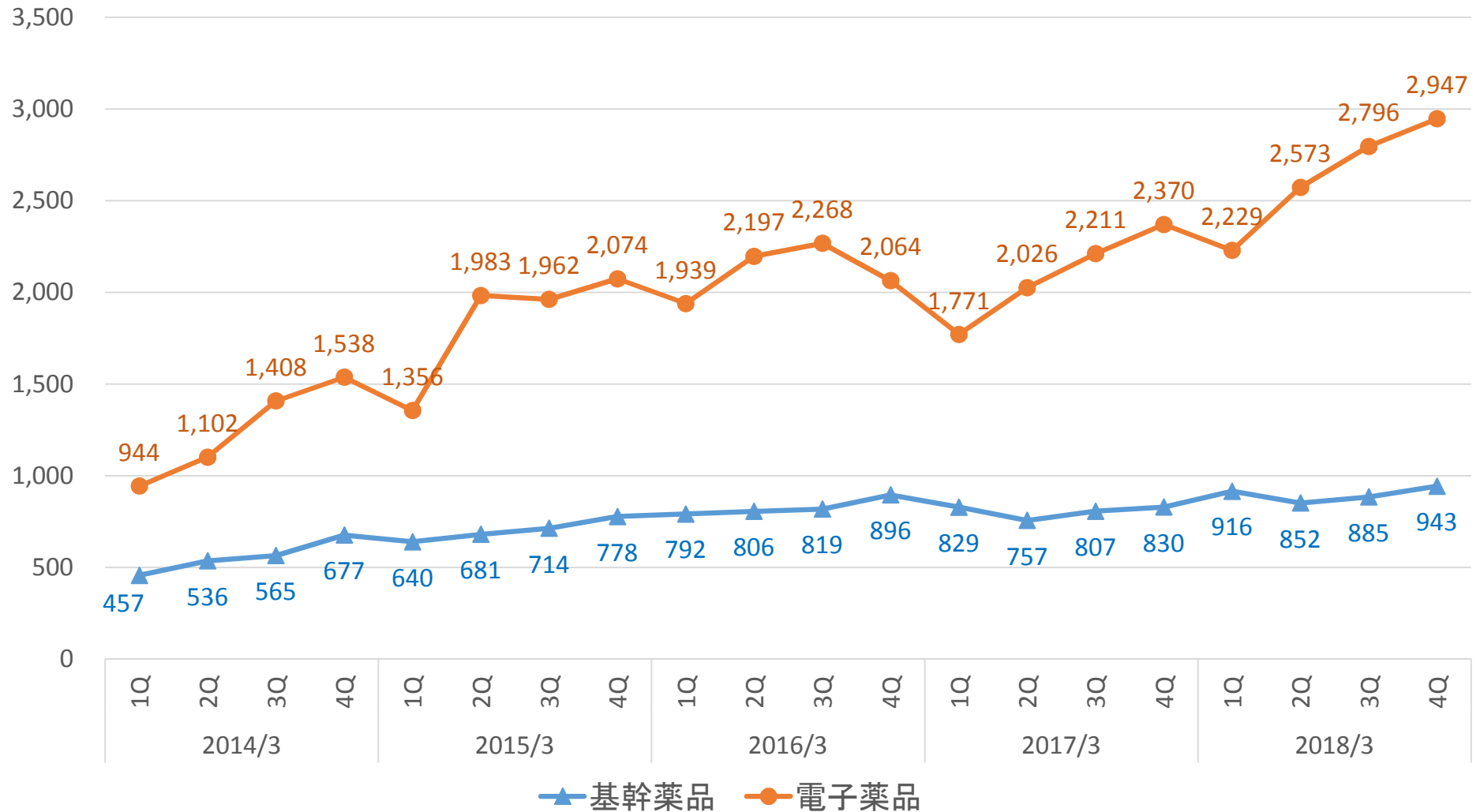
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

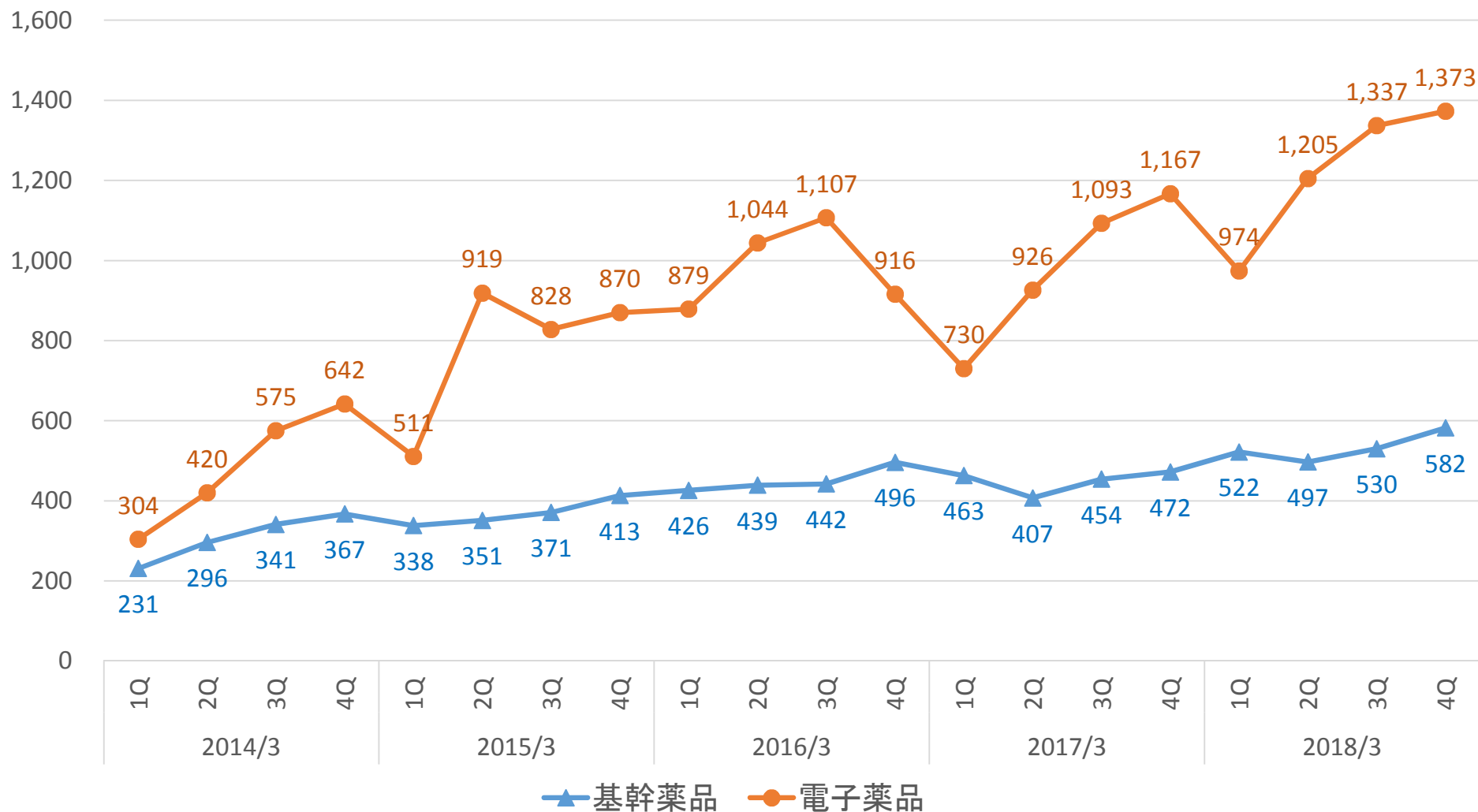
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

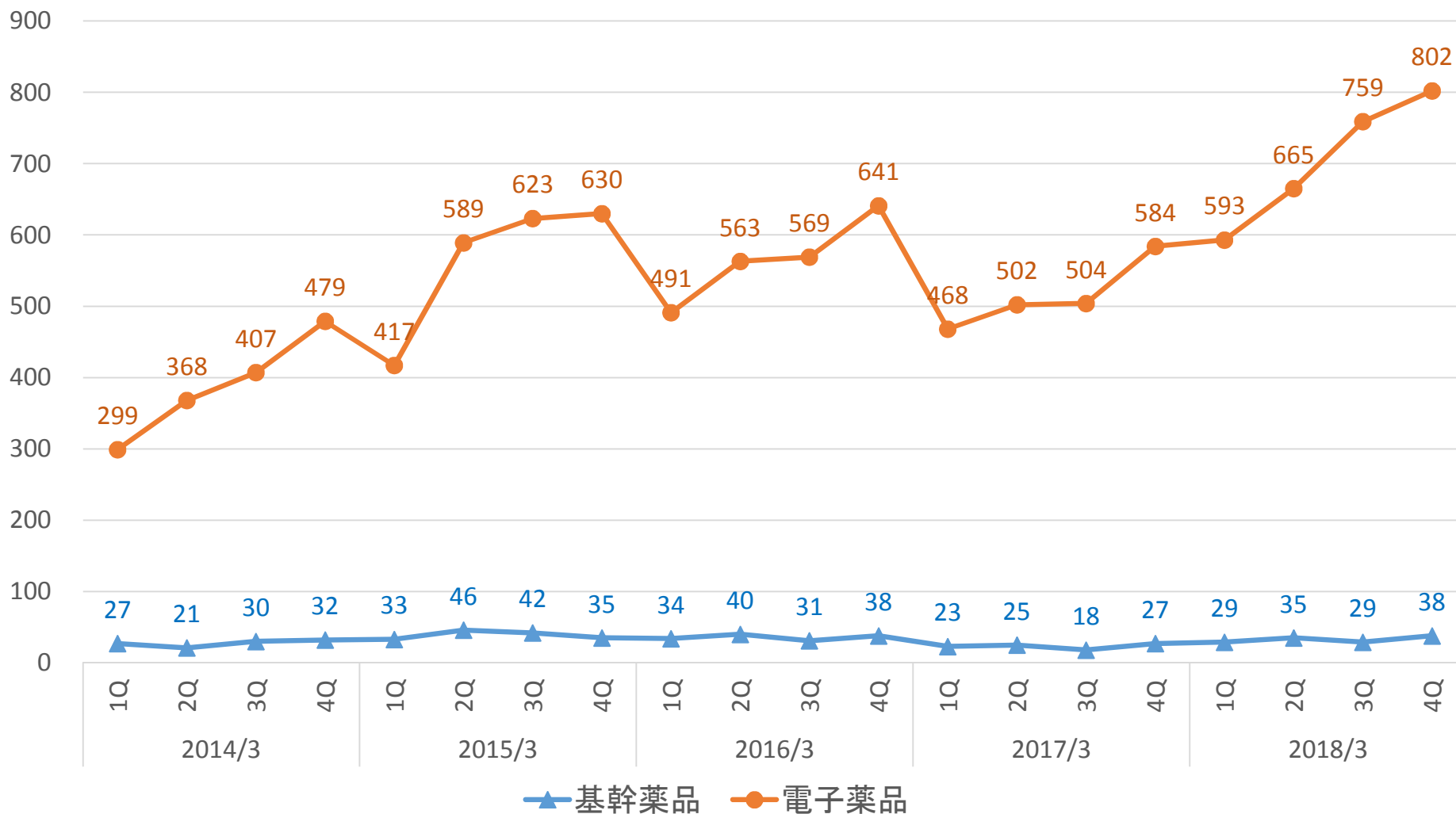
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

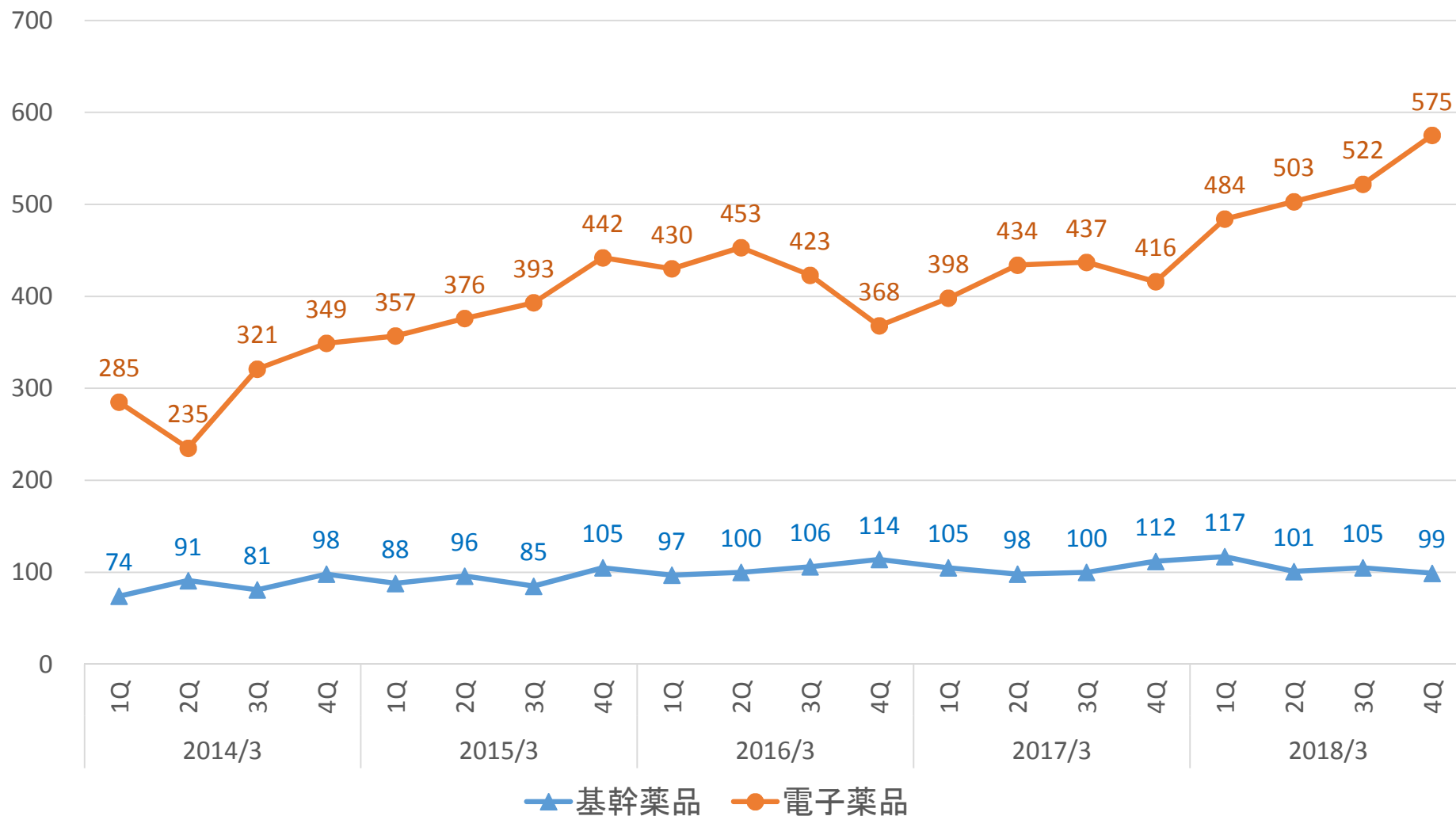
台湾



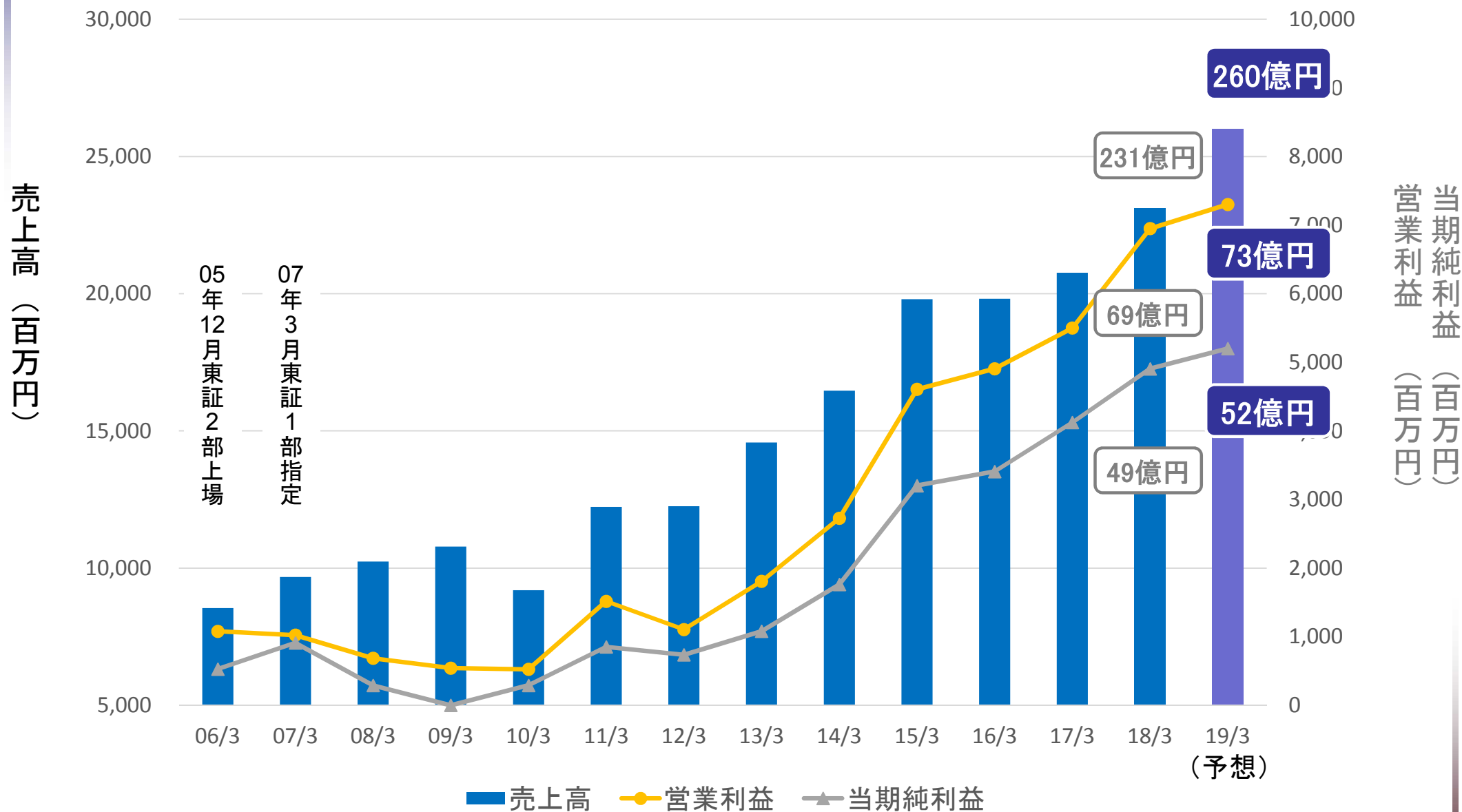
四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国

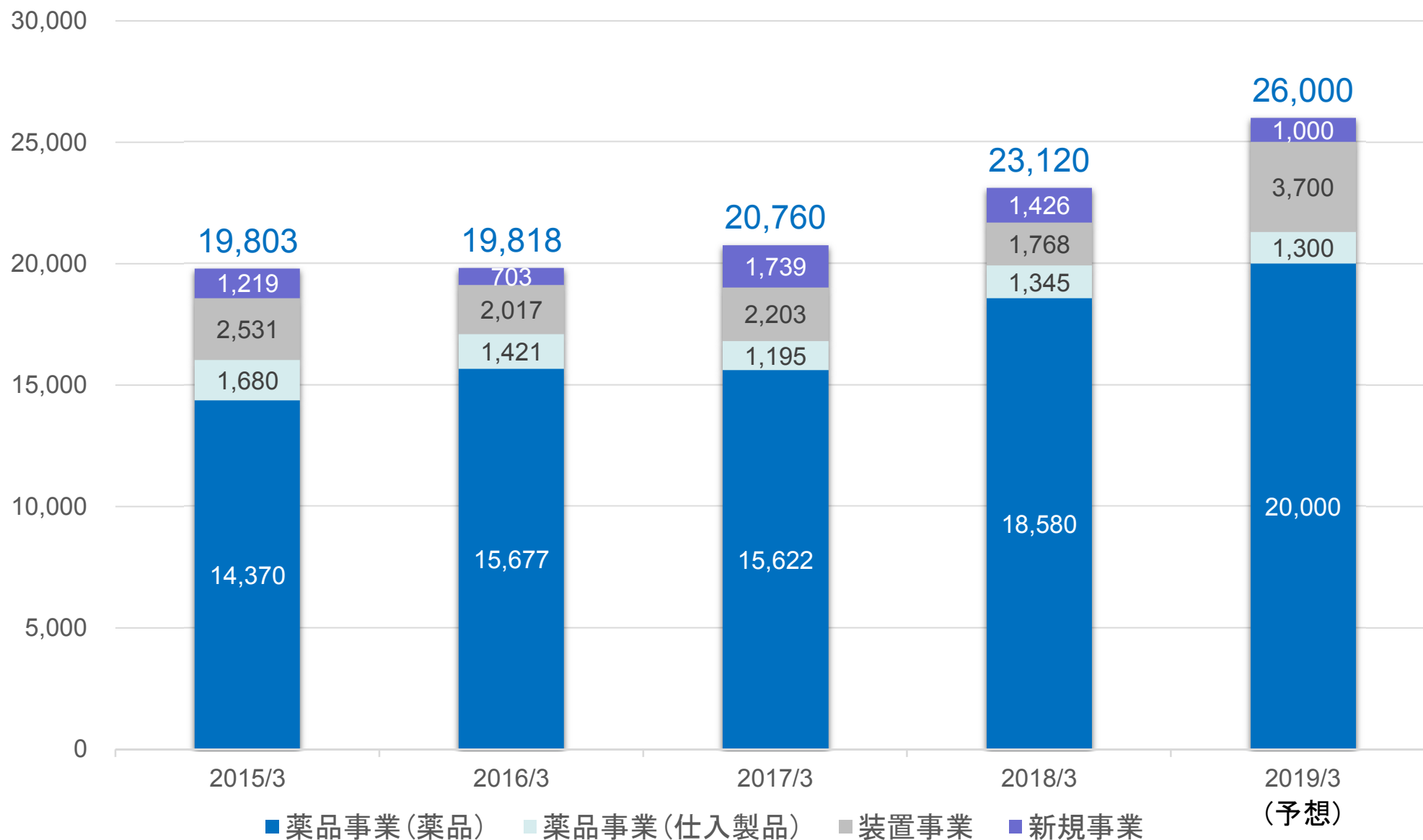


上場からの業績推移 (予想)

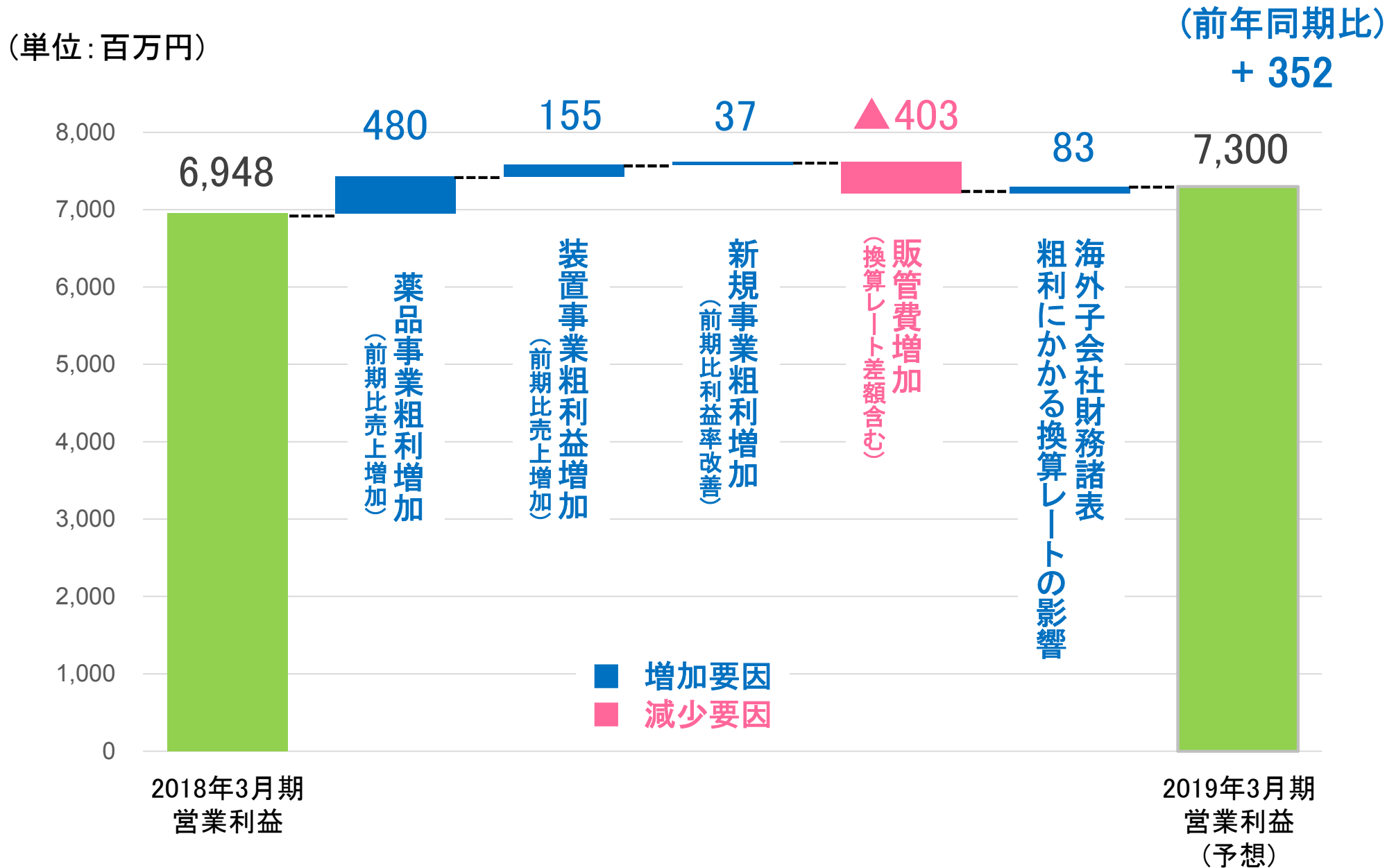


年度別製品構成別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



2019年3月期 連結営業利益 増減内容(予想)



フィルム上へのめっき形成プロセス

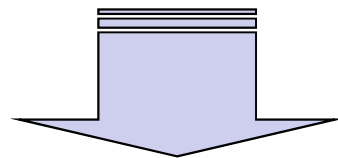
(旧:FPC戦略プロジェクト)

【進捗報告】

前回報告(まとめ)

フレキシブル基板(FPC)・・・薄く柔軟性があり、折り曲げられる基板。

- ◆ 近年、スマートフォン等のモバイル機器に使用され、FPCの需要が増加。
- ◆ FPCの市場拡大にあわせて、新しい製造工法(プロセス名: ^{エルフシード}ELFSEED)を提案。
- ◆ FPCメーカーが素材に直接めっきを行うため、商流の変化が起こる。(次頁、参照)
- ◆ スパッタによる工法と異なり、穴の開いた素材に対して1度に両面へめっきができるため、より微細な回路の形成が可能。(先孔工法^{さきあな})
- ◆ ロール to ロール式の装置と薬品のセット販売 → 生産性UPと大幅コストダウン



技術的、コスト的にも優位性あり！

FPCの商流

〈ターゲット〉

- ◆ FPC、COFメーカーのFCCL工程の内製化（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ FCCLメーカーへの新工法提案（軽薄短小化）
- ◆ パッケージ基板へFPC採用（軽薄短小化）

ポリイミド(Polyimide)
フィルムメーカー

フレキシブル銅張積層板
(FCCL)メーカー

FPCメーカー

最終製品メーカー

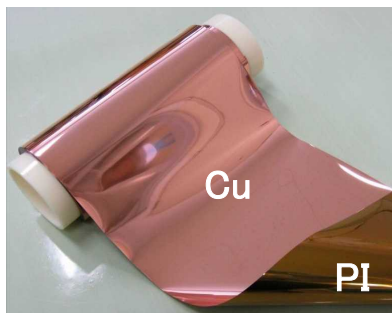
ポリイミドに銅箔(Cu)を張る。

FCCLを購入し、回路を形成してFPCを製造する。

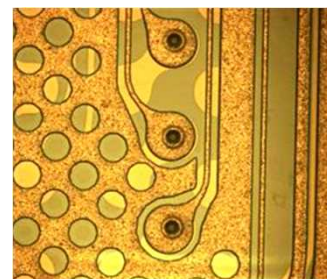
スマートフォンメーカー
TVメーカー、PCメーカー等



ポリイミド(PI)



FCCL(フレキシブル銅張積層板)

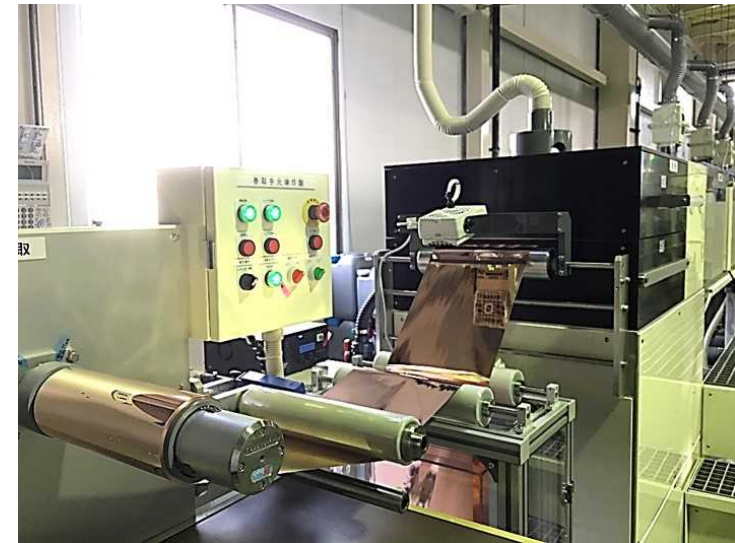


両面FPC





①ロール to ロール式
無電解ニッケルめっき装置



②ロール to ロール式
電解銅めっき装置



③ロール to ロール式
プラズマ装置

現状報告

※ COF(Chip on Film)

回路形成されたフィルム上に、ICを搭載する実装技術。
液晶等のディスプレイの実装に用いられている。

- ◆ 目標としていたロール to ロール式装置を1社から正式に受注。
- ◆ FPCやCOF※は、現在サブトラクティブ法で製造されているが、回路のさらなる微細化に伴い、SAP(セミアディティブ法)が今後検討される可能性あり。
エルフシード
(ELFSEEDのターゲット)

今後の対応

- ◆ 受注した装置は、2018年末に納入予定。装置納入後、評価テスト→量産化により実績と技術が認められることで、お客様の広がりに期待。
- ◆ 高精細FPCの低コスト化技術提案を継続。(薬品と装置を融合した当社強み)
- ◆ 様々なフィルム幅に対応する装置機構を引き続き検証。

- 
- 2018年3月期決算概況
2019年3月期業績予想
 - 決算・業績予想トピックス
 - 参考資料（会社概要）

会社概要

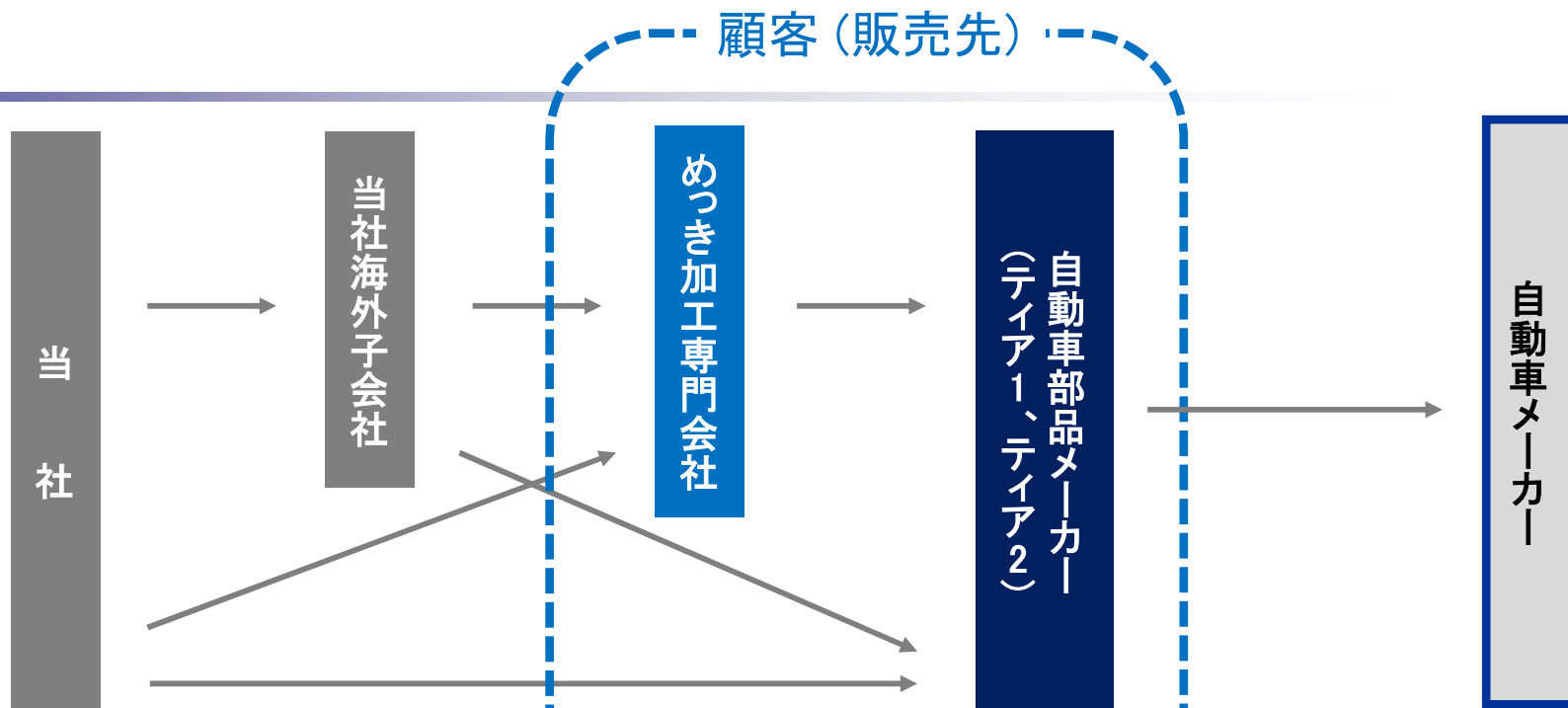
創業	:	1957年 12月
設立	:	1968年 4月 1日
資本金	:	11億9,157万円
年商	:	単体 140億円 連結 231億円 (2018年3月期末)
本社所在地	:	東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
業務内容	:	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	:	代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二 代表取締役社長兼COO 木村 昌志
従業員数	:	単体 264名 連結 559名 (2018年3月末現在)

ISO認証取得

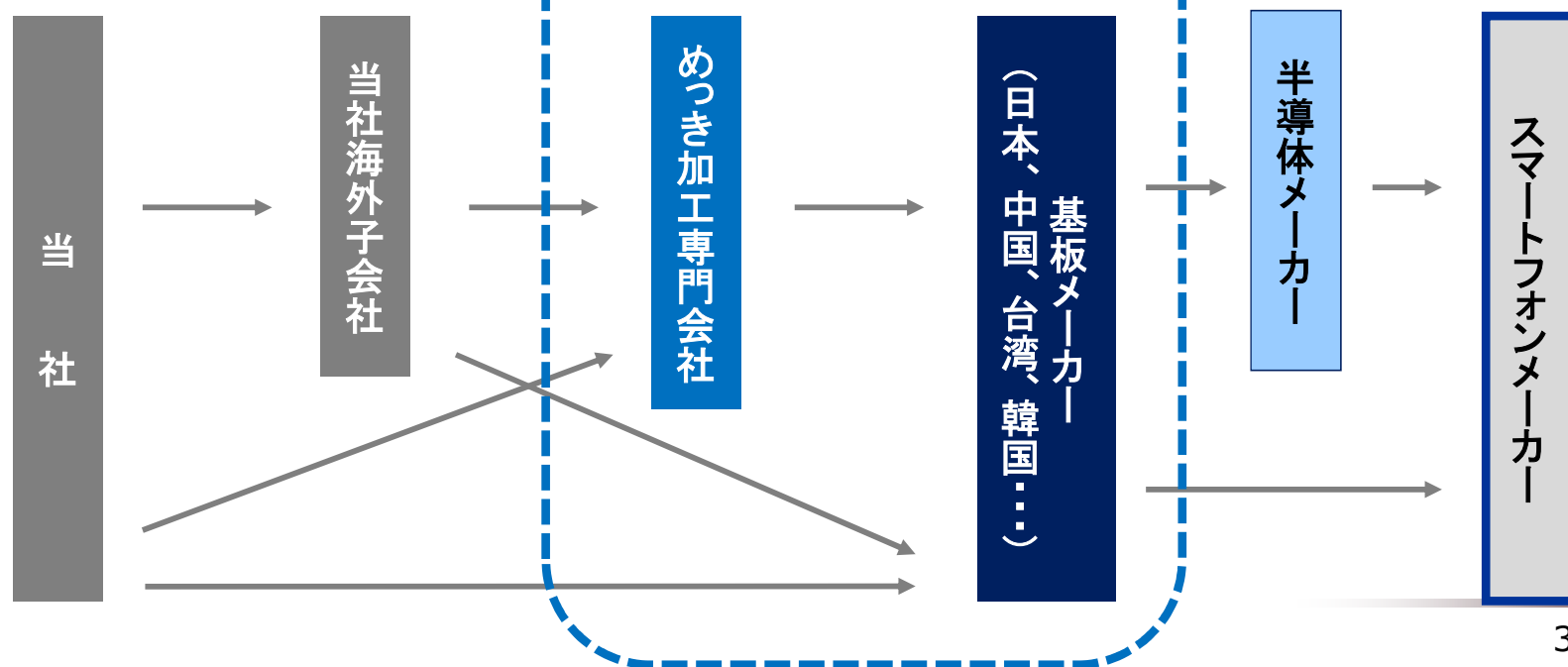
ISO9001	生産本部・薬品調達部・本社営業部・総合研究所	JCQA-0281
ISO14001	生産本部・総合研究所	JCQA-E-0143

主な商流

自動車



スマートフォン



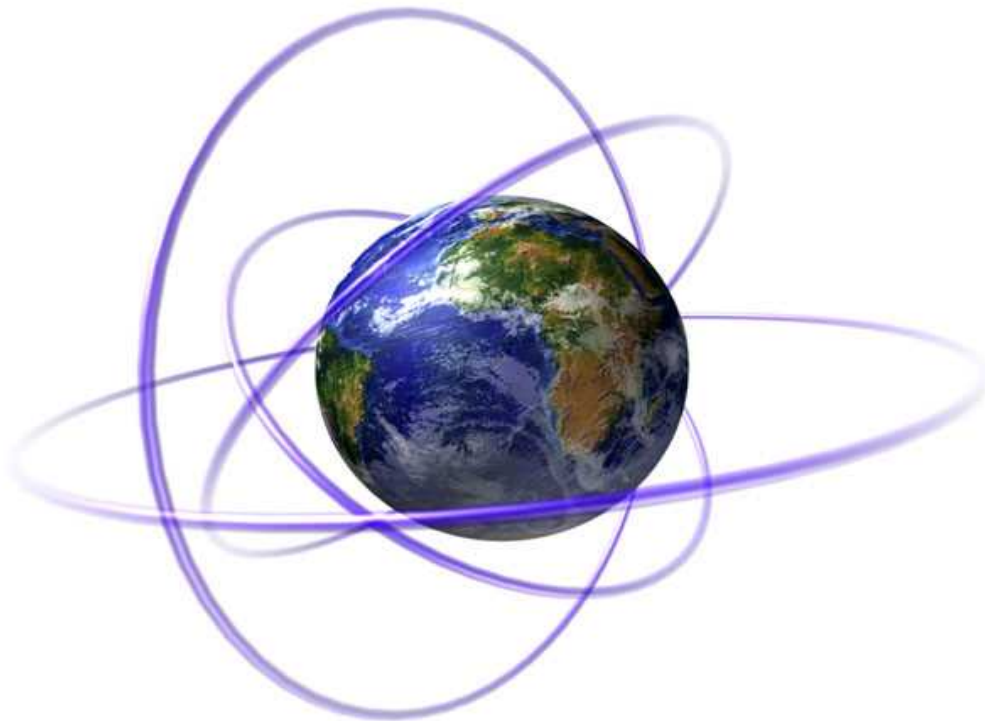
主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー)

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置

新規事業	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工
	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先: 経営戦略室
TEL: 03-6895-7004